

講義名	スポーツキャリア論			授業形態	
担当教員	与那覇 秀勲	開講期・曜日・時間	後期 木曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

スポーツや健康について学んだ知識や、これまでのスポーツ経験が、どのように実際の社会や仕事に活かされるのかを学び、自身に合ったスポーツキャリアを考えることを目的とする。また、自身が望むスポーツキャリアを実現するために必要な知識や能力についての理解を深める。

到達目標

- 本授業における到達目標は、以下のとおりである。
- 1) スポーツや健康に関する知識や経験が、社会においてどのように活かされるかを理解することができるようになる
 - 2) スポーツキャリアを形成するために必要な知識や能力について理解することができるようになる。
 - 3) 自己分析を行い、自身に合ったスポーツキャリアを考えることができるようになる。

提出課題

各回の授業においてミニレポートをキャンバスクロスで提出する。また、中間レポートと期末レポートを課す。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

各回の授業の始めに、前回授業で提出されたミニ・レポートの内容に関してフィードバックを行う。

評価の基準

各回の課題・ミニレポート（50％）、中間レポート（20％）、期末レポート（30％）

履修にあたっての注意・助言他

道別者は、開始後15分以内とし、静かに着席すること。講義中の質問は加減する。授業中の私語は厳禁で、使用を指示しない限り、スマホ使用を禁止とする。授業のシジュメはキャンバスクロスにアップロードするので、学習・復習に活用すること。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

授業計画

1. オリエンテーション、キャリアとは
(予備) レジュメの「キャリアとは」を熟読し、分からないところを確認しておく(120分)。
(復習) 「キャリアとは」の章で分からないところや重要なポイントをまとめる(120分)。
2. キャリア教育
(予備) レジュメの「キャリア教育」を熟読し、分からないところを確認しておく(120分)。
(復習) 「キャリア教育」の章で分からないところや重要なポイントをまとめる(120分)。
3. スポーツとライフスキル
(予備) レジュメの「スポーツとライフスキル」を熟読し、分からないところを確認しておく(120分)。
(復習) 「スポーツとライフスキル」の章で分からないところや重要なポイントをまとめる(120分)。
4. 社会で求められる人材
(予備) レジュメの「社会で求められる人材」を熟読し、分からないところを確認しておく(120分)。
(復習) 「社会で求められる人材」の章で分からないところや重要なポイントをまとめる(120分)。
5. 体育会と就職
(予備) レジュメの「体育会と就職」を熟読し、分からないところを確認しておく(120分)。
(復習) 「体育会と就職」の章で分からないところや重要なポイントをまとめる(120分)。
6. 自己のスポーツキャリアの振り返り、ライフラインの作成
(予備) レジュメの「自己のスポーツキャリアの振り返り」を熟読し、分からないところを確認しておく(120分)。
(復習) 自己のスポーツキャリアのライフラインを作成する(120分)。
7. スポーツ選手のキャリア（経歴別）
(予備) レジュメの「スポーツ選手のキャリア」を熟読し、分からないところを確認しておく(120分)。
(復習) 「スポーツ選手のキャリア（セカンドキャリア、デュアルキャリア）」の章で分からないところや重要なポイントをまとめる(120分)。
8. スポーツに関わる仕事（行政・教員）
(予備) レジュメの「スポーツ選手のキャリア」を熟読し、分からないところを確認しておく(120分)。
(復習) 「スポーツ選手のキャリア」の章で分からないところや重要なポイントをまとめる(120分)。
9. スポーツに関わる仕事（民間企業）
(予備) レジュメの「スポーツに関わる仕事」を熟読し、分からないところを確認しておく(120分)。
(復習) 「スポーツに関わる仕事」の章で分からないところや重要なポイントをまとめる(120分)。
10. スポーツに関わる仕事（行政・教員）
(予備) レジュメの「スポーツに関わる仕事」を熟読し、分からないところを確認しておく(120分)。
(復習) 「スポーツに関わる仕事」の章で分からないところや重要なポイントをまとめる(120分)。
11. スポーツに関わる仕事（スポーツ関係団体・非営利組織）
(予備) レジュメの「スポーツに関わる仕事」を熟読し、分からないところを確認しておく(120分)。
(復習) 「スポーツに関わる仕事」の章で分からないところや重要なポイントをまとめる(120分)。
12. キャリアトランジション、リスクリング
(予備) レジュメの「キャリアトランジション、リスクリング」を熟読し、分からないところを確認しておく(120分)。
(復習) 「キャリアトランジション、リスクリング」の章で分からないところや重要なポイントをまとめる(120分)。
13. パラレルキャリアについて書籍やインターネット等で調べておく(120分)。
(復習) ガストスピーカーの話を読み、パラレルキャリアについて重要なポイントをまとめる(120分)。
14. 企業分析
(予備) レジュメの「企業分析」を熟読し、分からないところを確認しておく(120分)。
(復習) 「企業分析」の章で分からないところや重要なポイントをまとめる(120分)。
15. キャリア形成に向けた目標設定、まとめ
(予備) レジュメの「キャリア形成に向けた目標設定」を熟読し、分からないところを確認しておく(120分)。
(復習) 「キャリア形成に向けた目標設定」についてレポートを作成し提出する(120分)。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

人間健康学科で学んだことやこれから学ぶこと（健康分野に関する基礎知識）を、どのように実際の社会や仕事で生かすのが到達目標であり、社会で活躍するための能力（コミュニケーション能力やリーダーシップ、マネジメント力など）について学ぶ点がOPに当たった科目であるといえる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

自身の考えを整理し、アウトプットすることを促進するため、授業中の質問や解答を加点の対象とする。また、キャンバスクロスを活用し、学生の質問や疑問に対する回答を行う。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。スポーツ団体において13年間従事しており、スポーツマネジメント人材の育成や指導者養成に関わってきた実績を有する。その経験を活かして、大学での学びやスポーツの経験等が、社会においてどのように役に立つのかを事例を交えて解説する。

備考